

2024年
新6年志望校別特訓説明会

星光西大和東大寺特訓

日能研関西

■ 学校概要

◆ アクセス ◆

大阪星光学院中・高等学校

〒545-0061 大阪市天王寺区伶人町1-6

- 大阪メトロ谷町線 四天王寺前夕陽ヶ丘駅から徒歩2分
- JR線 天王寺駅から徒歩10分
- 近鉄線 上本町駅から徒歩15分

西大和学園中・高等学校

〒636-0082 奈良県河合町薬井295

- JR線 王寺駅からバス6分（星和台一丁目下車すぐ）
- JR線 王寺駅から徒歩18分

東大寺学園中・高等学校

〒631-0803 奈良市山稜町1375

- 近鉄線 高の原駅からバス7分（東大寺学園行）
- 近鉄線 高の原駅から徒歩20分



◆ 教育方針 ◆

大阪星光学院中・高等学校

○プレゼンテーションなども重視した自己探究型の授業

英語・数学・国語それぞれに週6時間ほど充てられており、徹底して基礎学力の定着を図る。授業内ではじっくり考え、発表する機会も多く、そうした経験が高校でのアカデミックな授業へと結びつく。生物や物理など科学オリンピックなどでの活躍も目覚ましい。

○大阪星光だから体験できるアドベンチャー・プログラムの数々

「アッシステンツァ（ともにいること）」を実践する場として、中高6年間の学校生活を通じ、最低でも60泊はあるという合宿生活。校内施設と二つの校外施設を活用した大阪星光ならではのダイナミックな教育が行われる。

西大和学園中・高等学校

○知的好奇心を喚起させる、魅力的な体験活動

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）として、京都大学や奈良先端科学技術大学院大学における研究室での実習や、東京大学をはじめとする研究所や博物館などへの訪問、さらには国内外の著名な研究者を招いて行われる講演会等、さまざまな取り組みが行われる。

○アクション・イノベーション・プログラム（AIP）

海外で学ぶ体験プログラムが充実している。多読や外国人教師を中心とした音声面の徹底した語学指導のほか、音楽・美術・体育で外国人教師によるイマージョン教育を採用するなど、グローバル人材育成に向けたさらなる取り組みも注目される。

東大寺学園中・高等学校

○自由闊達な校風が息づく学校生活

規律ある空間を作りその枠にはめようとすれば個性を潰すことになりかねない、という理念のもと、制服はもちろん、校則もない。それぞれが異なる素質を生かすために自由があると考え、自分がやりたいことに取り組んでいる。同好会は生徒からの申請のみで設立できる。

○進度よりも深度を重視した授業

理科は実験を多く取り入れ、社会では引き出しを数多く準備し、生徒の知的好奇心を刺激できるかに力が注がれる。進度が早い数学も、教員は生徒がどのような解き方をしているのか、そのセンスを見る。教員と生徒の気軽なやりとりが有意義な時間となっている。

■ 入試概要（2024年度）

◆ 入試結果 ◆

	大阪星光学院	西大和学園	東大寺学園
試験日	1月13日（土） 8：40	1月14日（日） 15：00	1月15日（月） 9：40
募集人員	190名	180名（男子） 40名（女子）	200名
志願者	707名	979名（男子） 286名（女子）	970名
合格者	300名	398名（男子） 78名（女子）	408名
実質倍率	2.20倍	2.20倍（男子） 3.47倍（女子）	2.26倍

◆ 試験内容 ◆

	大阪星光学院	西大和学園	東大寺学園
国語	60分 120点	60分 150点	60分 100点
算数	60分 120点	60分 150点	60分 100点
理科	40分 80点	40分 100点	50分 100点
社会	40分 80点	40分 100点	50分 100点
判定	国算理社 国算理×1.25倍 国算社×1.25倍 のうち最高点	国算理社 国算理×1.25倍 のうち高い方の得点	国算理社 国算理×4/3倍 のうち高い方の得点
平均点	受験者：246.4点 合格者：275.4点 (400点満点)	受験者：320.2点 合格者：356.7点 (500点満点)	受験者：225.1点 合格者：258.1点 (400点満点)
受験者 平均 科目別	国語：70.6点 算数：66.0点 理科：56.5点 社会：51.6点	国語：93.5点 算数：93.2点 理科：66.0点 社会：65.5点	国語：53.1点 算数：48.9点 理科：60.7点 社会：64.4点
合格者 最低点	252.5点/400点	339点/500点	233点/400点

■ 大阪星光学院中の入試問題の傾向と対策

◆ 国語 ◆

文章題 2 題（物語文と論説文）、単独で語句の問題が出題される例年通りの構成。出題形式は、記述問題と選択問題が中心で、昨年に続き、ぬき出しの出題がなかった。記述はすべて字数指定があるもので、60 字から 100 字程度の説明が求められる。物語文では登場人物の心情や行動の意図を問う出題が中心。「誰の」「どのような状況」における行動かを考えたうえで心情を類推する力が問われる。論説文では、筆者の主張を正しく理解できているかが問われる。傍線前後の段落の関係性（文脈）に着目することで、問われている内容に対する答えが本文中から見つかることが多い。文章全体の主題や構成を意識しながら、文章を読む習慣を大切にしたい。

◆ 算数 ◆

1 が計算と小問、2 以降が大問で、うち 1 題で式・説明や作図を要求する形式。今年度はこの設問で解答に至るまでの過程を問われた。ここ数年、難度が上がってきている。平面図形・立体図形にかかわらず、図形では問題に合わせて自分で図を正確に描く力が要求される。また、うまく比を使わないと解けない問題が速さや平面図形、立体図形で多く出題される。普段の学習から自分で図を描く、比を利用して解く、といった練習を十分に積んでおきたい。

◆ 理科 ◆

制限時間 40 分。生物・化学・物理・地学各 1 題の計 4 題。総問題数は 38 問。全体的に問題文が長いので、問題文を丁寧に読み取り、答えにつながる情報を整理・把握する「読解力」が求められる。知識に関しては最難関校らしく、深い内容まで問われる。基本的な知識・解法はきちんと獲得しておくこと。また、問題文に与えられた条件を自分の手で整理し、書き出すことが重要である。また、記述問題や作図させる問題も比較的多いので、普段から「書くこと」を意識し、練習を積み重ねて欲しい。

◆ 社会 ◆

大問 2 題構成で地理・歴史が 1 問ずつ出題された。地理では地形図やさまざまなグラフや資料を読み取る形式の出題が多く見られる。こうした形式の問題の練習をしておく必要がある。また、検定教科書に記載されている用語について出題されることもあり、検定教科書をしっかり読むことはもとより、基礎的な語句について確実に理解しておく必要がある。時事的な話題を題材に出題されることが多いので、「重大ニュース」などを使って時事的なトピックも注意しておいてほしい。

■ 西大和学園中の入試問題の傾向と対策

◆ 国語 ◆

出題形式は文章題の大問2題と、語句と段落整序から成る大問1題の計3題である。読解問題の記述の比率は標準的だが、語句・空欄補充・選択肢とあわせて、多彩な形式でバランスよく出題されるので、どのような形で問われても対応できるように訓練を積んでおく必要がある。頻出の段落整序は文章全体の構成や段落相互の関係をとらえる訓練が必須。日頃から文章構成を意識して文章を読む訓練をしておきたい。また大問三では、段落整序のほか、日本語に関するさまざまなトピックをもとにした問題が出題される。語句の学習はもちろん、日常的に使われる言葉に対しても幅広い関心を持っておくことが大切である。

◆ 算数 ◆

例年同様、①計算・小問(図形以外)、②小問(図形)、③レベルの高い小問、④大問という構成。数論と図形が他の分野より出題頻度が高い。特に数論・場合の数は手間のかかる問題が多く、ていねいに調べて確実に解くようにしたい。図形問題は、正確な図を与えられる場合がほとんどだが、自分で別に図をかいて考える問題もあるので練習しておきたい。①、②の出来が合否に大きく影響するが、ひとひねりある応用問題もあるので、普段から一定レベル以上の問題をしっかり学習しておくことが重要である。

◆ 理科 ◆

制限時間40分。物理・化学・生物・地学各1題の計4題。総問題数は40問。生物と地学は正しい基本知識とそれを活用する力が試される問題が多い。物理と化学は計算問題が中心で、基本的な知識とそれらを応用させて思考する力、与えられた条件を整理する力が試される。まず、基礎知識を確実に定着させ、計算や論理的な思考について練習し、十分に力をつけることが大切。特にここ数年、問題文より条件を読み取らせ、推論させる問題が増えている。問題文をきちんと読み、自らの知識と結びつけて考える練習が必要である。

◆ 社会 ◆

短文記述、語句・正誤の組み合わせを答える選択問題、語句を漢字指定で答える問題が多く出題されることが特徴。小問数は通常50問前後あり、問題を解き進めるスピードが要求される。地理は例年地形図が出題され、過去問などで読み取りや出題形式に慣れておくことが必要である。また、初出の統計を読み取る問題も出題され、その資料を意味する事柄を読み取る力をつけることが必要である。前述のとおり漢字指定で答える問題が多く、日頃から漢字で書くことを意識した学習が必要になる。歴史は比較的解きやすい問題が多く、基礎的な事柄はもとより幅広く知識をつけておくことが重要である。本年も時事問題が出題されており、「重大ニュース」などを用いて日頃から国内や海外の動きをとらえておきたい。

■ 東大寺学園中の入試問題の傾向と対策

◆ 国語 ◆

出題形式は文章題の大問2題と、語句と段落整序から成る大問1題の計3題である。読解問題の記述の比率は標準的だが、語句・空欄補充・選択肢とあわせて、多彩な形式でバランスよく出題されるので、どのような形で問われても対応できるように訓練を積んでおく必要がある。頻出の段落整序は文章全体の構成や段落相互の関係をとらえる訓練が必須。日頃から文章構成を意識して文章を読む訓練をしておきたい。また大問三では、段落整序のほか、日本語に関するさまざまなトピックをもとにした問題が出題される。語句の学習はもちろん、日常的に使われる言葉に対しても幅広い関心を持っておくことが大切である。

◆ 算数 ◆

2021年度から問題、解答用紙ともB4横書きになり、計算問題もなくなっていたが、計算が復活し、②以降は大問、解答用紙もB4縦書きに逆戻りした。答えのみ記入するものが①だけで、他はすべて考え方・式が必要であるのは例年通り。この「考え方・式」は部分点が出るので、普段から条件を書き出、線分図や表を書いて解法の糸口を見つけるなど、答えを出すまでの過程をきちんと書き残すことを意識して学習してほしい。また、平面図形、立体図形についても、正確に作図し直して考える習慣を身につけておきたい。

◆ 理科 ◆

制限時間50分。物理と化学と地学が2題、生物が1題の計7題。総問題数は54問。生物、地学、化学については、基本知識に加えて雑学的要素も多い。物理、化学2題のうち1題は難解な思考、計算を伴うことが多く、物理のうち1題は様々なジャンルの総合問題である。生物、地学、化学については、幅広く知識を確実に身につけておく必要があるとともに、日常生活における身近な現象について、その仕組みを理解するように普段から心掛けてもらいたい。物理、化学の計算は短時間で正確に処理する練習を必ず行うこと。

◆ 社会 ◆

全体的に時事的な世の中の動きに関連したテーマのもと出題されるので、社会科としての幅広い正確な知識が求められている。地理分野は統計資料を読み取る高度な思考力が問われる出題、歴史分野は短文の正誤判定を中心とした出題という、例年通りの出題であった。対策としては、統計資料の読み取りをしっかりとできるように、各種テストで正答肢以外の選択肢について「なぜ誤りなのか」を考えていくようにしたい。また、用語の意味をしっかりと理解しながら、知識を増やすことを普段から心がける必要がある。さらに、世の中の動きに関して、注意深くアンテナをはりめぐらせるようにしていきたい。

■ 特訓概要（今年度）

◆ 開催校 ◆

天王寺校・千里中央校

◆ 受講基準 ◆

「公開模試」「育成テスト応用」の関西順位（平均）

3科：400位以内、または4科：200位以内

◆ 指導教科 ◆

水曜：算数 Zoom 配信を自宅で視聴

日曜：国語・算数は毎週実施、理科と社会は隔週実施

（例）1週目：算数・理科・国語 2週目：算数・社会・国語

◆ 一週間のモデルスケジュール ◆

火曜日	水曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	星西東特訓 (Zoom)	算数	社会 理科	テスト 星西東特訓

◆ 時間割（例） ◆

- 水曜日 -		- 日曜日 -	
19:00～21:15	算数 (Zoom 授業)	09:00～12:25	育成テスト 公開模試
		12:25～12:45	食事休憩
		12:45～14:25	算数 (100分)
		14:35～16:15	理科 or 社会 (100分)
		16:25～18:05	国語 (100分)
		18:05～19:05	ふりかえり (確認テスト・質問)

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

◆ 特訓保護者会 ◆

第1回保護者会（4月頃）…特訓担当者紹介、特訓指導方針、前期指導内容についての説明

第2回保護者会（7月頃）…夏期講習・後期指導内容についての説明

第3回保護者会（10月頃）…入試直前期の指導内容、受験校の選定・出願についての説明

◆ 特訓イベント ◆ ※実施時期は変更になる場合があります。

① 大阪星光トライアル（10月）・東大寺トライアル（11月）

② 東大寺学園見学会（4月頃）・西大和学園見学会（5月頃）・大阪星光見学会（9月頃）

③ 私学の魅力 徹底研究（大阪星光学院・西大和学園・東大寺学園 いずれも5月頃）

◆ 特訓カリキュラム ◆

	回数	算数 (水曜)	算数 (日曜)	国語	理科	社会
前期 (2月～7月)	1	立体図形①	総合問題演習①	入試問題研究①	入試問題研究	地理①
	2	立体図形②	総合問題演習②	入試問題研究②		地図の見方
	3	立体図形③	総合問題演習③	説明文 指示語	力とつり合い①	地理②
	4	立体図形④	総合問題演習④	説明文 具体化説明①		気候と産業
	5	数論①	総合問題演習⑤	説明文 理由説明①	植物①	地理③
	6	数論②	総合問題演習⑥	入試問題研究③	植物②	統計Ⅰ
	7	場合の数	総合問題演習⑦	物語文 心情説明①	動物の特ちょう	地理④
	8	文章題	総合問題演習⑧	物語文 心情説明②	人体①	統計Ⅱ
	9	割合と比①	総合問題演習⑨	物語文 理由説明②	人体②	地理⑤
	10	割合と比②	総合問題演習⑩	入試問題研究④	地表面の変化	世界の国々
	11	割合と比③	総合問題演習⑪	説明文 空欄補充	星・太陽	歴史①
	12	割合と比④	総合問題演習⑫	説明文 具体化説明②		古代の人物
	13	平面図形①	総合問題演習⑬	説明文 理由説明③	月	歴史②
	14	平面図形②	総合問題演習⑭	入試問題研究⑤		中世の人物
	15	平面図形③	総合問題演習⑮	物語文 心情説明③	気象	歴史③
	16	平面図形④	総合問題演習⑯	物語文 具体化説明③		近世の人物
	17	平面図形⑤	総合問題演習⑰	物語文 暗示・象徴	気体	歴史④
	18	速さ①	総合問題演習⑱	入試問題研究⑥	水溶液	近代の人物Ⅰ
	19	速さ②	総合問題演習⑲	説明文 総合問題	中和	歴史⑤
	20	速さ③	総合問題演習⑳	物語文 総合問題	熱と燃焼	近代の人物Ⅱ
夏期	1	X	入試問題研究Ⅰ	テーマ別読解演習①	音 光	入試問題研究Ⅰ
	2		入試問題研究Ⅱ	テーマ別読解演習②	電気	入試問題研究Ⅱ
	3		入試問題研究Ⅲ	入試問題研究	力とつり合い② 力と運動	入試問題研究Ⅲ
後期 (9月～1月)	1	数論①	入試問題研究①	入試問題研究①	入試問題研究①	入試問題研究①
	2	数論②	入試問題研究②	テーマ別読解演習③		
	3	場合の数	入試問題研究③	入試問題研究②	入試問題研究②	入試問題研究②
	4	文章題	入試問題研究④	テーマ別読解演習④	入試問題研究③	入試問題研究③
	5	割合と比①	入試問題研究⑤	入試問題研究③	入試問題研究④	入試問題研究④
	6	割合と比②	入試問題研究⑥	テーマ別読解演習⑤	入試問題研究⑤	入試問題研究⑤
	7	テーマ別学習①	入試問題研究⑦	入試問題研究④	入試問題研究⑥	入試問題研究⑥
	8	平面図形①	入試問題研究⑧	テーマ別読解演習⑥	入試問題研究⑦	入試問題研究⑦
	9	平面図形②	入試問題研究⑨	入試問題研究⑤	入試問題研究⑧	入試問題研究⑧
	10	平面図形③	入試問題研究⑩	テーマ別読解演習⑦	入試問題研究⑨	入試問題研究⑨
	11	平面図形と速さ	入試問題研究⑪	入試問題研究⑥	入試問題研究⑩	入試問題研究⑩
	12	テーマ別学習②	入試問題研究⑫	テーマ別読解演習⑧	入試問題研究⑪	入試問題研究⑪
	13	速さ①	入試問題研究⑬	入試問題研究⑦	入試問題研究⑫	入試問題研究⑫
	14	速さ②	入試問題研究⑭	テーマ別読解演習⑨	入試問題研究⑬	入試問題研究⑬
	15	立体図形①	入試問題研究⑮	入試問題研究⑧	入試問題研究⑭	入試問題研究⑭
	16	立体図形②	入試問題研究⑯	テーマ別読解演習⑩	入試問題研究⑮	入試問題研究⑮

■ 国語の指導内容

◆ 前期特訓の内容 ◆

「最上級読解演習」を使用して、設問形式別に記述を中心とした問題演習をします。また、4週に1回のペースで入試問題研究を行います。問題演習と解説を通して、あらゆる設問に対応できる読解力を養います。また「最上級語句」(家庭学習用教材)を使用して、最難関校の入試に対応できる語彙力を養います。範囲表に沿って1回分を覚え、授業の最初に語句テストをします。

◆ 後期特訓の内容 ◆

大阪星光学院、西大和学園、東大寺学園の入試問題を演習し、解説します。授業で習得した解法を徹底して身につける「解法深堀チェック」や、なぜその解答になるのかを文章で説明する力を養っていく「根拠まとめ」を実施していきます。

■ 算数の指導内容

◆ 前期特訓の内容 ◆

◀水曜特訓▶

「重点単元強化テキスト」を使用して、本科授業のカリキュラムの定着を図ります。大阪星光・西大和・洛南・東大寺レベルの入試問題の基本となる知識、解法を定着させていく内容になっています。

◀日曜特訓▶

最難関校の入試で問われる基本となる解法をみる実力テストを40分で実施します。入試に必要な分野の頻出問題をくり返し演習することで、解法を定着させていく内容になっています。

◆ 後期特訓の内容 ◆

◀水曜特訓▶

入試必須単元である『数論』『速さ』『平面図形』『立体図形』を中心に単元別演習を行います。また、日曜特訓で確認テストを実施し、水曜特訓の学習内容の定着度を測ります。

◀日曜特訓▶

大阪星光学院、西大和学園、東大寺学園の入試問題を演習し、解説します。授業後は「劇伸び交換プリント」を用いて、入試本番に生かせる解法を身につけていきます。

■ 理科の指導内容

◆ 前期特訓の内容 ◆

「前期 特訓テキスト 最難関」を使用して、本科授業のカリキュラムで学習した各単元の内容の授業を行い、知識や考え方の理解を図ります。すべての問題を解くのではなく、使用問題一覧を配布しますので、そこにある問題を解きます。解答そのものよりも、「どうしてその解答になるのか」という考え方をしっかり身につけてください。また、知識を関連づけて覚えることを心がけましょう。

◆ 後期特訓の内容 ◆

大阪星光学院、西大和学園、東大寺学園の入試問題を演習し、解説します。入試本番と同様に制限時間を設けて演習し、演習後に解説授業を行います。入試問題で合格点を得るための戦略や、各問題を解くための戦術を学習します。

■ 社会の指導内容

◆ 前期特訓の内容 ◆

実際の入試問題を抜粋・単元別に編集した「前期 特訓テキスト」を使用します。本科授業のカリキュラムと合わせて地理・歴史の各分野別に問題演習をし、解説と復習を通じて実力を養成します。また、確認テストを実施して前回の授業内容の定着度を測ります。

◆ 後期特訓の内容 ◆

大阪星光学院、西大和学園、東大寺学園の入試問題を演習し、解説します。入試本番と同様に制限時間を設けて演習し、演習後に解説授業を行います。入試問題で合格点を得るための戦略や、各問題を解くための戦術を学習します。